

水・大気環境局 大気生活環境室
水環境課、地下水・地盤環境室

1. 事業の概要

ヒートアイランド対策を通じた都市の熱環境改善を図るため、下記の事業を実施する。

- (1) ヒートアイランド現象に関する調査及び観測
 - 環境影響の調査
 - 気温等の広域測定
 - クールシティ推進に向けた指針の作成(新規)
 - ヒートアイランド対策に関する普及啓発
- (2) 環境技術を活用した対策技術のヒートアイランド対策の検証
 - 大都市オフィス街をモデル地区とした熱環境管理推進事業
 - 都市内水路等を活用した実証モデル調査
 - 地下湧水等及び地下熱を利活用した対策技術の効果検証並びに地下水・地盤・地下熱環境の影響評価
- (3) 熱中症予防情報の提供及びモニタリング

2. 事業計画

項目	H17	H18	H19	H20	H21
環境影響の調査					
気温等の広域測定					
クールシティ推進に向けた指針の作成					
ヒートアイランド対策に関する普及啓発					
大都市オフィス街をモデル地区とした熱環境管理推進事業					
都市内水路等を活用した実証モデル調査					
地下湧水等及び地下熱を利活用した対策技術の効果検証並びに地下水・地盤・地下熱環境の影響評価					
熱中症予防情報の提供及びモニタリング					

3. 施策の効果

ヒートアイランド現象、及びその影響、対策効果等は現段階では定量的な評価が困難である。本事業によって、定量的な施策目標を作成・実行するための影響指標や評価手法を検討し、ヒートアイランド対策の推進を図る。

クールシティ推進事業

ヒートアイランド現象に関する調査及び観測

ヒートアイランド現象による人・生物・大気環境などへの影響に関する調査
気温等の広域測定の増強実施(首都圏・近畿圏・中部圏)
効果的な対策を提案するためのガイドライン、対策の評価ツールの作成
パンフレットの作成等により、ヒートアイランド対策大綱や国の取組を紹介

環境技術を活用したヒートアイランド対策 の検証

大都市における緑化や緑地の活用等の事業による効果を検証

都市内の小河川や水路等の植生護岸化や、大気との接触水面拡大による効果の検証

地下湧水等を活用した路面散水やドライミスト、地下熱を利用したヒートポンプ等の対策技術について効果を検証するとともに、地盤環境への影響を検証



熱中症予防情報の提供とモニタリング

WBGT(湿球黒球温度)の推定値を用いた熱中症の予防情報の提供と、WBGTの実測器を用いてのモニタリングを通じた推定値の精度向上